

## 2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 03 月 18 日作成)

委員会名	設計気象WG	主 査 名：赤坂 裕
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会(建築設備小委員会)	委員長名：鉾井修一
設 置 期 間	2003年 4月 ~ 2005年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	2003年度 ASHRAE HOF に準拠した日本の設計用気象データの整備 国内の設計気象データの整備 1996~2000年の拡張アメダス気象データの整備 2004年度 照度データの整備 気象データの空間補間, 成果の公表	
委員構成 (委員名(所属))	主査 赤坂裕(鹿児島大), 幹事 二宮秀與(長岡造形大), 荒井良延(鹿島建設), 井川憲男(竹中工務店), 石野久彌(東京都立大), 射場本忠彦(東京電機大), 永村一雄(大阪市立大), 永村悦子(園田学園女子大学短期大学部), 郡公子(宇都宮大), 曾我和弘(鹿児島大), 武政孝治(広島県立保険福祉大), 松本真一(秋田県立大), 西岡真稔(大阪市立大), 龍 有二(北九州市立大)	
設置WG (WG名:目的)		
2003年度予算	80,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	1)2003.8.19・8名 2)2003.11.11・7名 3)2004.2.20・6名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1996年~2000年のアメダス気象データの欠測状況を整理するとともに、要素毎に欠測補充作業を行い、気温、日照時間、降水量に関してはほぼ欠測補充が完了した。これと並行して日射量から昼光照度、天空放射輝度分布、天空輝度分布を推定する方法について検討した。また標準年気象データの作成法に関して幾つかの方法を検討した。合わせて拡張アメダス気象データに添付するデータ処理プログラムの改良と新しい機能を追加する作業を行った。  委員会 HP アドレス: <a href="http://amedas.aae.kagoshima-u.ac.jp/index.html">http://amedas.aae.kagoshima-u.ac.jp/index.html</a>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 本年度の目標とした欠測補充作業は7割方完了した。作業時にミスをしないことを優先しているため、作業が多少遅れてもやむを得ないと考えている。プログラムの開発は、ほぼ計画通り進んだ。
その他評価すべき事項	